

令和4年度第2回各務原市総合教育会議議事録

I 日 時 令和4年10月18日（火）午後3時30分～午後4時55分

II 場 所 産業文化センター7階第1大会議室

III 出席者

（構成員）

市 長 浅野 健司

教育長 加藤 壽志

教育委員 大堀 憲、和智 陽子、林 ゆり、小島 聡太郎

（教育委員会事務局）

事務局長 横山 直樹、参与兼教育施設整備推進室長 牧田 洋之、

総務課長 足立 勉、学校施設課長 嶽 翁輔、学校教育課長 林 香里、

中央図書館長 新居 美保、青少年教育課長 三輪 史子、文化財課長 西村 勝広、

スポーツ課長 河瀬 憲政、少年自然の家所長 奥村 祐輔、

学校給食センター所長 和田 雅仁

（市長部局）

企画総務部企画政策課長 水野 博之、

産業活力部長 鷲主 英二、産業活力部次長兼いきいき楽習課長 永井 昭徳、

産業活力部観光交流課長補佐兼多文化共生・交流係長 川上 光洋

（書記）

教育委員会事務局総務課主幹 堀 善子、教育委員会事務局総務課主幹 小川 大介、

教育委員会事務局総務課主事 砂川 雄哉

IV 内 容

1 市長あいさつ

2 協議・調整事項

（1）各務原市学校建替基本方針策定について

（2）不登校対策について

（3）各務原市多文化共生推進プラン（素案）について

V 協議・調整事項の結果

（1）各務原市学校建替基本方針策定について

市 長 それでは、議事に入ります。はじめに、次第にあります「各務原市学校建替基本方針策定について」を議題としたいと思います。本市の学校建替基本方針について、現状・今後の方向性などを共有する機会になればと思います。それでは、担当課より説明をお願いします。

学校施設課長 （各務原市学校建替基本方針策定について、資料により説明）

市 長 説明ありがとうございました。

ただいま説明のありましたように、学校施設の老朽化が進む中、国では、新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方に関して議論がなされ、考え方が示されています。本市の今後の学校施設の在り方等について、教育委員の

皆様のご意見をお伺いしたいと思います。

大堀委員 古い学校ばかりとのことですが、我々が育ったころは新しい校舎で学ぶことができて恵まれた環境であったと思いました。今後建て替えて70年80年使用することを考えますと、安全面で予測のできない時代において、川崎重工や航空自衛隊等がありますので、ウクライナのような事態が70年80年の間に起こることもあり得ます。そうしたことから、シェルターの設置を検討していただきたいと思います。全学校に必要とは思いませんし、コストの問題もあると思いますので、必要な学校の検討が必要であると考えます。

和智委員 人数が少ない学校をどうやって維持していくかといったことも踏まえて、校舎の建替えが必要だと感じました。国が示す新しい時代の学びを実現する学校の姿が実際に到来するのであれば、建替えされる場合は、ぜひこういったイメージを多分に取り入れた学校を実現してほしいと思います。また、学校の避難場所としての機能について、昨今の国際情勢を踏まえると、力を入れていただければと思います。また、学校が地域の方々の協力や交流によって支えられ、維持されていく体制が、学校施設の建替えによって加速すると良いと考えます。

林委員 大堀委員の意見と同じで、シェルターはぜひ設置いただきたいと思います。ただし、コストもかかるものですので、シェルターを避難だけの目的で設置しておくのではなく、普段の学びの場としても活用できればよいと思います。建替えの際には、市役所の新庁舎のようにランニングコストがかからないような工夫があるとよいと思います。児童生徒数が減少局面にあることも鑑み、雨水を利用したり自然光を利用したりといった、ランニングコストを抑えた建物に建替してほしいと思います。また、さくらまえみやには、畳の間があり、説明の中であったイメージはそうした事例の発展形だと感じました。ただし、ICT教育も大事だと思いますが、読み書きもしっかりできるような学校であってほしいと思いました。

小島委員 今説明のあった課題に、我々が保有する施設においても直面しております。一番古い建物で、昭和40年前半にできましたので、40年から50年経過しており、同じような問題を抱えております。幼稚園ですので、小学校・中学校とは利用形態が異なるとは思いますが、年数順に建て替えていくのが果たして望ましいのか疑問に感じています。在籍者数や施設の使われ方等にも目を向けて、優先順位をつけることが望ましいと思います。未来の学校の教室や生活環境の在り方という点についても、現在の学校敷地や校舎の規模でその理想がかなうのか懸念しています。例えば、グラウンドを侵食しなければ、校舎を建てられないとなってしまうと、子ども達が運動する場所が少なくなってしまう。こうした異なる課題が見えてきますので、十分に考えていかなければならないと考えます。

市長 小学校は私が4年生の時にピーク、中学校は3年生の時にピークでして、減少しています。先ほどのイメージ図では、広めのスペースが確保されていますが、実際にそれだけのスペースが取れるのかという問題はあります。シェルター等、防災機能を持たせる一方、地域コミュニティの核としての役割も

非常に重要であると思いますので、策定委員会の皆さんにも、本日の意見をお伝えいただきたいと思います。

(2) 不登校対策について

市長 次に「不登校対策について」を議題としたいと思います。

本市の不登校対策について、現状、これまでの取組、今後の方向性などを共有する機会となればと思います。担当課より説明をお願いいたします。

学校教育課長 (不登校対策について、資料により説明)

市長 説明ありがとうございました。

今説明がありましたように、不登校児童生徒への支援につきましては、子どもたちの社会的な自立に向けて、これまでもさまざまな支援が行われてきたところですが、不登校児童生徒数というのは、依然として高い水準で推移をしております、児童生徒指導上の喫緊の課題となっております。本市の取組等について、教育委員の皆様のご意見をお伺いしたいと思います。

和智委員 さくらまえみやの内覧会に伺いました。ここで学べたら良いだろうと思う良い施設でした。教室も広く、余裕のある環境で、自分の好きなことをやって良いということで、温かい施設だと感じました。開所してからあまり経っていませんが、利用者もいるということで、個性に応じた場所を子ども自身が選ぶことができる施設が各務原市にあることはうれしく思います。まずは、周りの大人たちが、こうした施設に行けるよう促していくことが重要だと思います。一方で、最近の学校は魅力が失われているのではないかと感じています。コロナ禍により、私の娘ですと、中学校3年間で一回も運動会を経験していませんし、音楽の授業は歌えません、文化祭もありませんといった、以前であれば体験できたことを体験できず、空白期間がある状態となっています。それにより、学校が勉強するだけの場となり、学校が楽しいと思える子が減っていると感じています。一方で、塾に行っている子も多く、子どもには勉強させたいと保護者は考え、お金を払って通わせていますが、果たしてこうしたシステムでよいのかと疑問に感じています。学校には、楽しく学べる場となってほしいと思いますし、私も周囲に不登校の悩みを持つ保護者がいれば、こうした施設のことを紹介したいと思います。

林委員 先日伺った際に、プールを畑にという話がありましたが、プールは水が漏れてはいけない施設なので、排水を閉めてしまい、そこに土を入れてしまえば、水が溜まってしまうという話をしました。テクノプラザに屋上等の緑化をする技術を持っている会社がありますので、もしプールに土を入れて、畑にしたいということであれば、そうした方法も視野にいれて、対策した方がよいと思います。

さて、こうした施設があっても、保護者の送迎が必要であることが一番の課題だと思います。スクールバスを運行するのは難しいことだと思いますが、何らかの対策が必要だと思います。また、子どもですが、保護者に対しての周知が必要だと思います。親自身が困り感を抱えている場合もありますので、親も一緒に通える、相談できるような環境であると良いと思います。

また、動物のお世話やふれあいを通じて、通所の継続が望めるのではないかと思います。

小島委員 子どものやりたいことを主にやらせてあげるということは良いと思いました。私も学校は行って当たり前の環境で育ちましたが、今の子どもたちには負担なのかもしれないと思うこともあります。コロナ禍において、感染が怖いから人が集まる場所には行きたくないという保護者も見受けられる中、子ども自身に何も体調不良はないですが、両親がそう言うからとだんだんと敬遠していくということも目にしています。義務教育だからという固定概念を取り払ってしまっても良いと思っています。学校には似つかわしくないですが、おもちゃやテレビでアニメを流すようなことをしても良いと考えていて、自宅にいるような雰囲気の提供をしつつ、仲間と過ごすといったことに繋がっていくと良いと思います。子どもに自由にやらせるような場も今後ますます必要になっていくのではないかと感じています。

大堀委員 コロナ禍によりコミュニケーションが不足して、だんだんと学校から遠ざかっていくパターンが多いと感じています。それは大人も同じで、私の会社では、20代30代の若い社員が月曜日に会社に来られないことが多く、他の会社にきいても同じような状況です。今までは、食事会や社員旅行等色々な行事があり、その中で、仕事以外のコミュニケーションを取る機会がありましたが、コロナ禍になって、仕事上の話しかしていないために、プレッシャーや不安感等を一人で抱え込んで、月曜日に来られなくなるパターンが見受けられます。子どもを不登校から復帰させようとする同じで、言葉に気を付けたりしてなんとか社会復帰させようとしています。不登校児童生徒の増加傾向は今後も続くと思いますが、社会に出れば、自分自身に打ち勝ち、自立していかなければならないので、不登校ではない子どもたちにも、例えば、月曜日に好きなメニューの給食が出る等の不登校児童生徒の発生を抑制する方策、学校が楽しくなるような工夫が必要だと感じています。

市長 心の相談員が小学校に拡充して成果があったこと、また、さくらまえみやでは、早々に利用者がいるとのことで、それぞれ事業を活用・利用してもらいながら、自分らしいスタイルを見出してもらおうきっかけにもらいたいと思います。文部科学省通知にもありますが、不登校児童生徒への支援は、「学校に登校する」ということのみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要があること、また、児童生徒によっては、不登校の時期が休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つことがある一方で、学業の遅れや進路選択上の不利益や社会的自立へのリスクが存在することに留意して取り組んでいく必要があると考えます。引き続き、不登校児童生徒の居場所づくりとともに、自己肯定感や学習への自信・意欲を育み、集団適応能力の育成や自立への支援に取り組んでいただきたいと思います。市長部局としても、教育委員会と十分に連携、協力をして、取り組んでいきたいと思っています。

(3) 各務原市多文化共生推進プラン（素案）について

市長 次に「各務原市多文化共生推進プラン（素案）について」に移りたいと思います。担当部長より説明をお願いいたします。

産業活力部長 （各務原市多文化共生推進プラン（素案）について、資料により説明）

市長 参考までに、各務原市の人口からすると、2%～2.1%くらいが外国籍の方になります。県内ですと、美濃加茂市、可児市が1、2位でして、各務原市は、岐阜市や大垣市よりも少なく、ちょうど真ん中くらいの順位です。比率的には大きくないと思いますが、学校においても日本語指導が必要であるという状況だということをご理解いただきたいと思います。

ただいま説明のありました、多文化共生推進プランの素案について、ご質問やご意見はありますでしょうか。

和智委員 外国籍の方の進路等、外国籍の方の取り巻く環境を把握していただけると、取り組みやすいのではないかと思います。

観光交流課長補佐 現状を完全に把握しているわけではありませんが、ほとんどが日本の学校に入っています。外国人市民アンケートによると、進路については、高校進学を希望する方が多くいました。ただし、母国に帰って母国の学校に通いたいという方が4%強、進学せずに働きたいという方も2%強います。昨年度、中学校を卒業した方たちは、一人は母国に帰っていますが、その他は高校に進学しています。

市長 ありがとうございます。外国籍の子どもの教育機会の充実を目指していきたいと思います。市長部局としては、関係する方々、教育委員会と十分に連携、協力をして、取り組んでいきたいと思います。

教育長 シェルターの話がありましたが、学校は主として自然災害に対する避難場所として備えています。それ以外の可能性についても考えていかなければならないと思いました。また、学校建替の優先順位について、年数だけではなく、総合的な視点で判断すべきだご意見がありましたが、その通りだと思います。学校ごとに状態が全く違いますので、総合的に判断していかなければならないと感じています。また、ハード整備を行った後は、ソフトの充実が重要になってくると思います。素晴らしい施設が出来た後、その施設で立派な教育ができるかということが重要です。固定概念を脱し、指導方法も斬新なことを考えなければならぬと感じました。

コロナ禍で子どもが運動会等のイベントを経験できていないという話がありました。新しく採用された教員についても同様に、学級運営上の様々な経験ができていない状況ですが、そういう点についても対応を考えていかなければならないと思います。不登校対策事業については、周知することが重要です。さくらまえみやについても、積極的な周知を行ってきました。引き続き、周知に努めたいと思いますので、教育委員の皆様のご支援もいただければ幸いです。

多文化共生推進プランについては、教育委員会として外国籍の児童生徒への全体像を明らかにしていくことが大切だと思いますので、更に取り組みたい

と思います。

本日は、色々な意見をいただきましたので、各課で検討していきたいと思います。

市長 事務局においては、本日の意見等を今後の施策の展開に十分に反映していただきたいと思います。議事はすべて終了いたしました。進行を事務局に返します。

総務課長 ありがとうございました。本日は、忌憚のないご意見等を賜り、非常に有意義な会議となりました。本日いただいたご意見等は、今後の施策への参考とさせていただきます。それでは、長時間にわたり大変お疲れ様でした。これをもちまして令和4年度第2回総合教育会議を終了させていただきます。